

(公社) 兵庫県建築士会姫路支部 構造学習会 2026



自分でできる！木造住宅の構造計算<2026年版> (全10回)

<ZOOMによるオンライン講習> (CPD認定プログラム 各回2時間 2単位)

2025年4月の建築基準法改正により、木造建築物の構造審査が厳格化されました。改正から1年が経過し、「より効率的かつ正確に構造計算を行いたい」「実務で迷うポイントを重点的に学び直したい」と考えている設計者の方も多いのではないのでしょうか。

本年度も、昨年に引き続き意匠設計者の方が取り組める「許容応力度計算」の習得を目指します。昨年度のカリキュラムをブラッシュアップし、実務において特に重要となる項目をピックアップして重点的に解説・演習を行う構成へと進化させました。講義では、実務で絶対覚えておきたい公式・理論の説明はもちろん、設計者を悩ませる「計算書のNG解消方法」についても解説します。

構造計算ソフト「ホームズ君※」の計算結果も共有しながら、全10回で木造の計算ルート1の許容応力度計算の核心をマスターして頂きます。 ※保有されていなくても受講できる内容となっています。

	日時	学習内容	(テキストページ)
第1回	5月28日(木) 午後7~9時<通年>	構造設計の考え方と材料強度 構造計算ルート、木造軸組工法の力の流れ、材料の許容応力度を知る	(P6~39)
第2回	6月25日(木)	荷重と外力-1(固定荷重・積載荷重・積雪荷重) 荷重の種類と組み合わせを理解し、荷重の拾い出しを実践する	(P40~43) (P50~51)
第3回	7月23日(木)	荷重と外力-2(風圧力) 風力係数、地表面粗度区分、ガスト影響係数等風圧力計算を理解する	(P44~46) (P52~53)
第4回	8月27日(木)	荷重と外力-3(地震力)および柱軸力計算 層の重量算定、層せん断力係数、Ai分布等を理解し地震力を求める	(P47~48) (P54~63)
第5回	9月24日(木)	耐力壁の選定と壁量および偏心による割増計算 耐力壁の強度と剛性、梁上耐力壁の剛性低下の理解、水平力に対する検定を行う	(P64~97)
第6回	10月22日(木)	水平構面の形成と検定 剛床仮定、地震力・風圧力に対する水平構面の検定を行う	(P105~112) (P120~129)
第7回	11月26日(木)	接合部・柱頭柱脚接合部の検討 耐力壁に負けない接合金物の選定、アンカーボルトの役割を知る	(P98~104) (P113~119) (P130~133)
第8回	12月17日(木)	梁の撓み量計算と横架材の断面算定 梁の撓み量計算、梁上耐力壁による曲げ・せん断検定を行う	(P134~140) (P152~162)
第9回	1月28日(木)	柱の座屈検討および垂木・母屋の設計 柱の座屈・土台めり込み、軒の負の風圧力に対する検定を行う	(P141~151) (P163~177)
第10回	2月25日(木)	べた基礎の理解と基礎梁・底盤の検討 接地圧の検定、基礎梁の長期・短期の曲げとせん断の検定、底盤の検定を行う	(P178~206)

※講義内容は、受講生の理解度等を確認しながら変更させて頂く場合があります。
※スマホでの受講は可としますが、ZOOMへの接続方法等は各自設定等お願いします。
受講確認ができない場合は欠席扱いとなりCPDの単位取得ができない場合があります。

主催： (公社) 兵庫県建築士会 姫路支部

対象者： 建築士(1級、2級、木造) インターネット接続が可能な環境にある方

使用テキスト： 設計実務に使える木造住宅の許容応力度計算

大橋好光、柳澤泰男 著 (株式会社日経BP)

参考書： 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2025年版)(公財)日本住宅・木材技術センター

講師： 景山構造設計工房 景山 誠氏 (明石高専非常勤講師、博士(工学)、構造設計一級建築士)

募集人数： 20名

受講料： 建築士会会員 10,000円/1年

建築士会会員外 30,000円/1年

※受講料は、受付確認メール(5月中旬送信)に記載の指定口座にお振込みください。

請求書・領収書の発行はございませんので、予めご了承ください。

申し込みはQRコードより必要事項をご記入の上お申込みください。 https://haa-himeji.com/?page_id=3435

申し込み期限は5月16日までとし、それまでに定員に達した場合は締め切らせていただきます。

事業担当者： 建築士会姫路支部 石原

